

別記 2

荷台改造仕様書

※別添「荷台改造イメージ図」参照

1 荷台の深型仕様

- (1) 対象：三方（左右、後部）
- (2) 材質：鉄製
- (3) 高さ：運転席の屋根高までの高さとする。
- (4) 深型後部；観音開きとする。
 - ア 扉はロックできるものとし、方式は問わない
 - イ 左右の先開きの指定なし

2 荷台の上部に転落防止柵を設置

- (1) 設置場所：四方（前後、左右）
- (2) 材質：鉄製
- (3) 高さ；30 cm（±5 cm）
- (4) 形状：別添「荷台改造イメージ図」参照
- (5) 設置方法
 - ア 前面：柵脚（2箇所）をボルトで固定（取外可）
柵の両端は、側面の柵とピン留め接続により、固定できる形状とする。
※前面柵のピン留め部分に側面柵を接続しピンで固定する。
 - イ 側面：柵脚をL字型に加工し、荷台の上部に取り付けたパイプに差し込み固定する。
設置個所は、3箇所（納入車種により変更あり。別途協議。）とする。
両端は、前後面の柵のピン留め部分と接続しピンで固定する。
 - ウ 後面：柵の両端は、側面の柵とピン留め接続により、固定できる形状とする。
※後面柵のピン留め部分に側面柵を接続しピンで固定する。

3 仕切柵の設置

荷台の中央と後部に檻状の仕切柵を設置

- (1) 中央部
 - ア 材質；鉄製
 - イ 高さ：荷台の高さと同程度とする。
※柵の下部は、床面から10 cm（±2 cm）の高さとする。
 - ウ 格子幅：10 cm（±2 cm）とする。

エ 設置方法：仕切柵のピン留め部分と荷台内部のピン留め部分を接続し、両端をピン（形状は問わない）で固定する。（取外可）

オ ピン留め箇所数

仕切柵：両側 4 箇所（片側 2 箇所）

荷台内部：左右両側 4 箇所（片側 2 箇所）

カ ピンの固定方法：片側は上下まとめて 1 本での固定とする。

（2）後部

ア 材質：鉄製（イメージ図はステンレス製になっているので注意）

イ 設置場所：観音扉が開閉できる位置とする。

ウ 高さ：荷台の高さと同程度とする。

※柵の下部は、荷台の床面と接地する。

エ 格子幅：10 cm（± 2 cm）とする。

オ 形状：仕切柵の左半分（進行方向に向かって左側）は、家畜搬出用の扉とする。（取外可）

カ 設置方法

（ア）仕切柵：仕切柵のピン留め部分と荷台内部のピン留め部分を接続し、両端をピン（形状は問わない）で固定する。（取外可）

（イ）家畜搬出用の扉：扉のピン留め部分と仕切柵のピン留め部分を接続し、両端をピン（形状は問わない）で固定する。（取外可）

キ ピン留め箇所数

（ア）仕切柵：両側 4 箇所（片側 2 箇所）

家畜搬出用の扉枠の両側 4 箇所（片側 2 箇所）

（イ）荷台内部：左右両側 4 箇所（片側 2 箇所）

ク ピンの固定方法：片側は上下それぞれ 1 本（合計 2 本）での固定とする。

4 床及び内装

（1）床仕上げ：全面をステンレス縞板仕様とする。

（2）内装：四方をステンレス張とする。

（3）内装高：床面から 30 cm（± 2 cm）

5 荷台屋根脚の差込用金具（パイプ）の設置

（1）設置場所：荷台の左右内側上部

（2）設置数：12 箇所（片側 6 箇所）

（設置位置等については、別途協議する。）

（3）材質：鉄製

（4）その他：荷台屋根は中小家畜試験場が作製する。